



市場で高く売れる子牛を作るために！～子牛の飼養管理～

新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。
今年4月以降の県南市場開催日程が2日から1日に変更となり、1日の上場頭数が増えることで購買者の増加が期待されます。

そこで、今月号では肥育農家が欲しがる発育の良い子牛(3ヶ月齢までに確実に増体している)をつくるため、哺乳牛の飼養管理のポイントについて紹介します。

1. 寒い時期は飼料を増給～濡れていると余分にエサが必要

気温が低くなると、体温維持・発育のためのエネルギー要求量が増えます。また、牛舎環境によっても必要なエネルギー量は変わります。

腹に糞便が付着

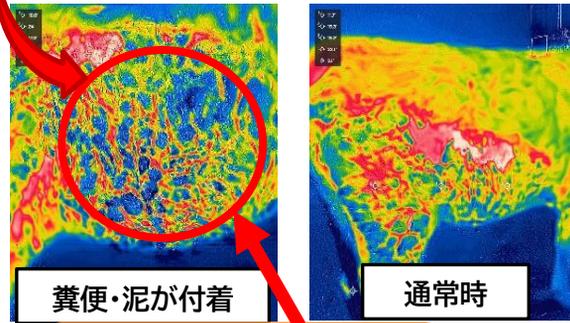


敷料が少なく、床は濡れてぐちゃぐちゃ



糞便や泥が付着した箇所をサーモグラフィカメラで見ると…

サーモグラフィカメラで見た状態



糞便・泥が付着

通常時

上の写真のように牛床が濡れていると、寝たときにおなかが冷えて下痢等になるだけでなく、体に糞便や泥が付着して汚れてしまいます。

右の写真は、この状態の牛の表面温度をサーモグラフィカメラで確認したものです。

糞便や泥が付着した箇所は青く表示され、温度が低いことがわかります。

この状態では、体温を維持するために**余計にエネルギーが必要**となります。

(例) 気温 -1.1°C の場合

被毛が乾燥、すきま風 (0.4 m/s)

⇒ 必要となるエネルギー量が **1.17倍**

被毛が濡れている、すきま風 (0.4 m/s)

⇒ 必要となるエネルギー量が **1.41倍**

カーボンヒーターで温めても、これでは台無し!!

寒冷環境とエネルギー要求量

気温	-1.1°C		-12°C		-23°C	
被毛の状態	乾燥	湿潤	乾燥	湿潤	乾燥	湿潤
風速 0.4 m/s	1.17倍	1.41倍	1.37	1.90	1.74	2.39
風速 4.4 m/s	1.33	1.70	1.80	2.27	2.26	2.84

気温の他、被毛が濡れているか乾いているかで、子牛や育成牛に与える**飼料給与量が変わります。**

2. 子牛の体を保温する飼養管理（子牛の濡れ防止）ポイント

○ 敷料は十分な量を敷く

清潔で乾いた敷料(わら、おがくず等)を厚さ10cm以上敷きます。(特に寝床の部分は厚めに)

敷料が厚いと牛床からの冷気も防ぐ

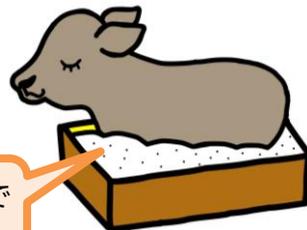


○ 敷料はこまめに交換

敷料が糞尿で汚れないようこまめに交換し常に乾いた状態にします。

○ 定期的な除糞（親付飼育下では特に！）と子牛用寝床を確保

子牛用ベットなど、清潔で暖かい寝床を作り、体が糞尿で汚れるのを防ぎます。



手作りの子牛用ベッドで敷料を節約！

○ カーフジャケットを着用

汚れたら洗濯し、常に乾いた状態にしましょう。

カーフジャケットが濡れてたら寒いよ



寝かせたいところだけ敷料を厚く敷く

飼槽側は敷料を薄く敷いてこまめに除糞



繁殖サイクルを回してガッチリ ~見えない儲けをわしづかみ!~

第8回は、『繁殖育成期の栄養管理』についての内容でした。今回は、繁殖育成期に続く『初回授精から分娩まで』の飼養管理のうち、栄養管理と種選びについてご紹介します。



↑県飼養管理マニュアルのダウンロード

第9回 初回授精～分娩

1 栄養管理

繁殖供用が開始される時期の雌牛はまだ**発育途中**にあります。このため、経産牛とは異なり、**自身の成長に必要な栄養分をしっかりと満たす**必要があります。

表1 飼料給与メニュー例

月齢	繁殖用配合※1	乾草※1
12	2.5 kg/日	6.0 kg/日
16	2.0 kg/日	7.0 kg/日
20	1.0 kg/日	7.0 kg/日
24	0.5 kg/日	7.5 kg/日

※1 表中の飼料の成分値
 ・繁殖用配合：水分12%、CPI16%、TDN70%
 ・乾草：水分16.6%、CPI11.3%、TDN54.5%（R6年度八幡平地域で生産された乾草17点の分析結果の平均）

2 初回授精における種雄牛の選定

出生時の子牛の死亡要因で最も多いのが「**過大子による難産**※2」です。特に黒毛和種では、改良に伴い生時体重が大型化している傾向があることから、**未經産牛や体格の小さい牛には、生時体重の小さい種雄牛を選択**することが難産を防ぐ1つの手段となります。

※2 出典：令和5年度農林水産省調べ（共済獣医師からの聞き取り）

（一社）家畜改良事業団の精液を使用する場合種雄牛案内に記載されている「**生時体重**」の**ゲノミック育種価が低い（0以下）種雄牛**を選択すると、難産を生じる可能性が低くなります。

表2 黒毛和種「愛之国」データ抜粋

後代数	生時体重 (kg)		在胎期間 (日)	
	育種価	正確度	育種価	正確度
雄 1173	-6.614	0.99	33.3±4.6	288.4±5.1
雌 557			30.9±4.3	287.9±5.0

育種価0以下

種雄牛によって生時体重が異なる

育成用配合から**繁殖用配合への移行は10か月齢頃**から徐々に行い（5日かけて1kg切替え）、初回授精を行う12～14か月齢は避けましょう。